

第5章 事業計画

1 概算事業費及び財源

第4章整備計画の「必要諸室・面積の整理」や「整備・配置の比較検討結果」から、施設一体型小中一貫やまと学園の施設整備に係る概算事業費は、以下のとおりです。

【施設計画概要】

■整備・配置案 現グラウンド位置への建替え



■計画面積 校舎等 概ね4,800㎡ 体育館 概ね1,200㎡ 計 概ね6,000㎡

※国庫補助基準（P16 詳細記載）による校舎等面積は7,322㎡となりますが、施設一体型小中一貫教育校による小中学校が共用できる教室・スペースの確保や、多目的室の設置など施設の有効活用等を図ることで、概ね6,000㎡のコンパクトでまとまりのある充実した施設規模設定としました。

【参考：現在施設規模 - 国庫補助金基準 - やまと学園施設規模】

（単位：㎡）

区分	現在の小中学校	国庫補助基準	小中一貫施設としての工夫	やまと学園
校舎	6,840	5,290		概ね4,800
体育館	1,337	2,032		概ね1,200
計	8,177	7,322		概ね6,000

※現在の小中学校は、岩田小学校と大和中学校の合計

■現在のグラウンド位置の広さに、普通教室棟、管理・特別教室棟、共用スペース、屋内運動棟の4つの用途の施設を配置していくことから、建物の階層は2～3階を想定しています。

【概算事業費】

上記の施設計画概要から、概算事業費は概ね 32 億 2 千万円から 35 億 2 千万円となります。

この概算事業費は、現時点での想定金額であり、今後の詳細な設計や社会情勢等により変動する可能性があります。

また、財源は、文部科学省の公立学校施設整備費負担金や学校施設環境改善交付金、市債として、学校教育施設等整備事業債の活用など、可能な限り有利な財源の確保を検討します。

(単位：百万円)

設計費	概ね 250
本体建設費	概ね 2,700～3,000
解体費・外構費	概ね 270
計	概ね 3,220～3,520

※本体建設費を 1 m²あたり 450～500 千円で計算

2 整備スケジュール

先行事例等を踏まえた概ねのスケジュールは以下のとおりとなりますが、施設一体型小中一貫やまと学園の新設に向け、事業期間短縮の方法について検討します。

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
基本計画	基本設計・実施設計			建設工事	供用開始

3 今後の検討事項

子どもたちの学びを第一義に置いた上で、安全・安心に、地域に開かれ、快適に利用できる「地域とともにある学校づくり」を進めていくため、基本設計に向け検討・協議していく事項を以下のとおり示しています。

- 施設用途（ゾーニング）毎のセキュリティ対策を検討
- 敷地の維持管理や施設の鍵管理など効率的な維持管理運営が可能な施設整備を検討
- 維持管理等のライフサイクルコスト削減の考え方を施設整備に反映
- 大和中学校敷地内で学校運営を行いながらの工事となるため、生徒の通学や学校活動に影響が出ないよう細心の注意と配慮を検討
 - ・学校部分と工事部分を仮囲いするなど、安全対策・動線分離を確保
 - ・施設建設時に利用できるグラウンドや駐車場の確保
 - ・工事期間中の騒音対策

